



大震災の教訓を生かした町づくり 西尾の未来をみんなで作ろう



通算第19号
発行
ほんごう照代後援会
西尾市一色町味浜北乾地58

愛する地域と共に!

ほんごう照代のブログ
http://hongou.miel.net/
「本郷照代」で検索可能
Tel/Fax 0563-72-7260

やっぱり消防団が頼りです!!

吉良町消防団の交付金での飲食問題がマスコミなどで大きく取り上げられ、あたかも消防団員全てが問題に関わっているかのような誤解を与えてしまったことは本当に悲しいことでした。

私たち旧幡豆郡内の住民は、消防団の皆さんが家庭や仕事を犠牲にして地域の安全と安心を守ってくれているのを知っているのに報道には戸惑いを覚えました。

実際、1月末の対米地内で発生した未明の火事も真っ先に消防団員が駆けつけ、凍てつく中を消火作業から後片付けまで従事していたのを目の当たりにしているからです。

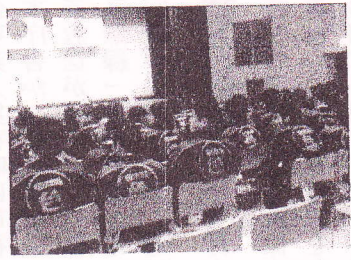
「防災教育の重要性」

先月末に発表された「南海トラフ」の地震予測は、本当に衝撃でした。予想最大震度7、最大津波高は5.1mですよ。

「まず逃げる!」って言われても。

そして、言うまでもなく東日本大震災の際に改めて消防団の有り難さを実感したのは私たち海辺に住む住民です。

一連の騒動の影響で新入団員確保に町内会長さんがどんなに苦労されたことか。



(平成23年4月1日撮影)

退団式が一色町公民館ホールで行われました。

「逃げろ!」「より遠くへ!」「より高台へ!」と聞きあきるほど声高に言われますが、さてこの沿岸部に住む私たちはいったい「どこへ?」「どうやって?」逃げればいいのかと途方にくれてしまっているというのが実情ではないでしょうか?

これまでの消防団に何も問題がないとは言いませんが、『新生消防団』として、これまでと変わることなく地域住民の安心安全な生活、生命財産を守るため力を注いでいただきたいと思えます。

それなのに「津波避難タワー」までも備えてあることがスゴイと思いましたが、その建設費用1億4000万円のうち町が負担したのは、たったの140万円!

私たちも地域で知恵と力を合わせて「生き残るための対策」を講じていかなないと。



ほんごう照代後援会入会申込書 (ご紹介者)

お名前	ご住所	TEL
	西尾市 町	TEL. -
	西尾市 町	TEL. -
	西尾市 町	TEL. -

合併したのだから、旧西尾市内を走っている「六万石くるりんバス」を旧幡豆郡にも！という要望は強いです。

しかし、広い範囲の旧幡豆郡内を走らせるにはルート設定やら、停留所の増設やら膨大な費用がかかることは素人目にも明らかです。

でも同じ市民として税

デマンド(予約)型乗合タクシーって？

金を払っているのだから、公平に住民サービスして欲しいですね。

そこで、「新たな地域公共交通」システムとして考えられたのが「デマンド型乗合タクシー」。

つまり、必要な時だけ小型車両で最寄りの駅または、バス停まで運ぶタクシーというわけです。

①小学校区をエリアとして、自宅からエリア内の最寄りの駅またはバス停との間をタクシーで移動。

具体的には、

- 西部小学校区・・・自宅から名鉄東部交通の刈宿バス停または赤羽根口バス停、またはふれんどバスの一色高校西バス停。
- 南部小学校区・・・自宅から名鉄東部交通の一色大宝橋バス停、またはふれんどバスの大宝橋バス停。
- 中部小学校区・・・

- 自宅から名鉄東部交通の満国寺前バス停または赤羽根口バス停、またはふれんどバスの一色公民館東バス停。
- 東部小学校区・・・自宅から名鉄東部交通の一色大宝橋バス停、またはふれんどバスの松木島バス停。
- ②予約制(利用の1時間前まで)で、他の予約者を順次乗せていく乗合運行。
- ③利用者負担は、一人あたり一律300円。
- ④運行時間は、毎日8時～17時台まで(年末年始休み)。

年始休み)。

4月2日に西尾市役所用にて発表されたこの方式について早速、一色支所にて閲覧。友人・知人と意見交換しました。

まずは、自宅から最寄りのバス停までということと、西尾駅までは行ってもらえないこと、少なくとも名鉄吉良吉田駅まで行って欲しいよね、というのが多く聞かれた意見でした。



5月1日まで市役所に意見を提出できるように、皆さん、どんどん有効な意見を出して要求していきましょう。

口頭にて言っただけではダメです。提出致しますばまとめて提出致しますのでお寄せ下さい。

ほんごう照代人は



生まれも育ちも一色町です。父親は大工で厳しい人だったので、結構反抗的に育ちました。打たれ強いのは、よく叩かれたせいかもしれません(笑)

生まれも育ちも一色町です。父親は大工で厳しい人だったので、結構反抗的に育ちました。打たれ強いのは、よく叩かれたせいかもしれません(笑)

大学進学も反対されたそうですが、「まだ女に学問はいらないという風潮がありましたね。なんとか頼んで、授業料以外はすべてバイトで賄うことを条件に、短大までは許してくれました。」

私よりずっと優秀な人で進学を断念した人がたくさんいます。女性の社会進出ということについて本気で考えるきっかけになりました。

(次号につづく)

予算議会である今議会には、一般人には予算書を手にする事ができないのが辛いところでした。一般質問も特に印象に残った質疑はなく、淡々と進められました。

西尾市議会傍聴記(3月定例会)

24年度予算の主要事業を見てみると、防災関連で同報系無線操作卓統

合事業(災害時に市役所本庁舎から旧3町にも一斉放送が可能に)、移動系無線一元化事業(電話回線が途絶した際、避難している旧3町に飲料水を供給するべく拠点整備に向けて調査・詳細設計する)などで計4700万円計上されていました。

一色地域文化広場整備事業としては、住民憩いの場となるよう緑あふれる公園として再整備費用約7800万円が計上されていました。

ほんごう照代後援会入会申込書 (ご紹介者)

お名前	ご住所	TEL	
	西尾市 町	TEL	—
	西尾市 町	TEL	—
	西尾市 町	TEL	—